大切なお子様の安全のために正しくお使いください。

——••アイデスカーゴ プラス••——

CARGO+

取扱説明書

目次

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

ides

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。

身体に関する危険
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注 意 **財物や商品本体に関する危険**
守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

【ご使用のお客様へお願い】

本商品は公園など、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかるなど思わぬ怪我の原因となることもありますので十分ご注意ください。店舗などにおけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上、ご使用されるようお願い致します。

●SGマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。
●この商品はSG基準により安定性、走行性、耐荷重、耐衝撃に合格した商品です。
●ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので、安心してお乗りください。
●対象年齢：1.5 歳～ 5 歳未満　身長目安：80cm ～ 100cm まで
乗車体重：20kg まで ※カゴの制限重量（8 kg）は含みません。

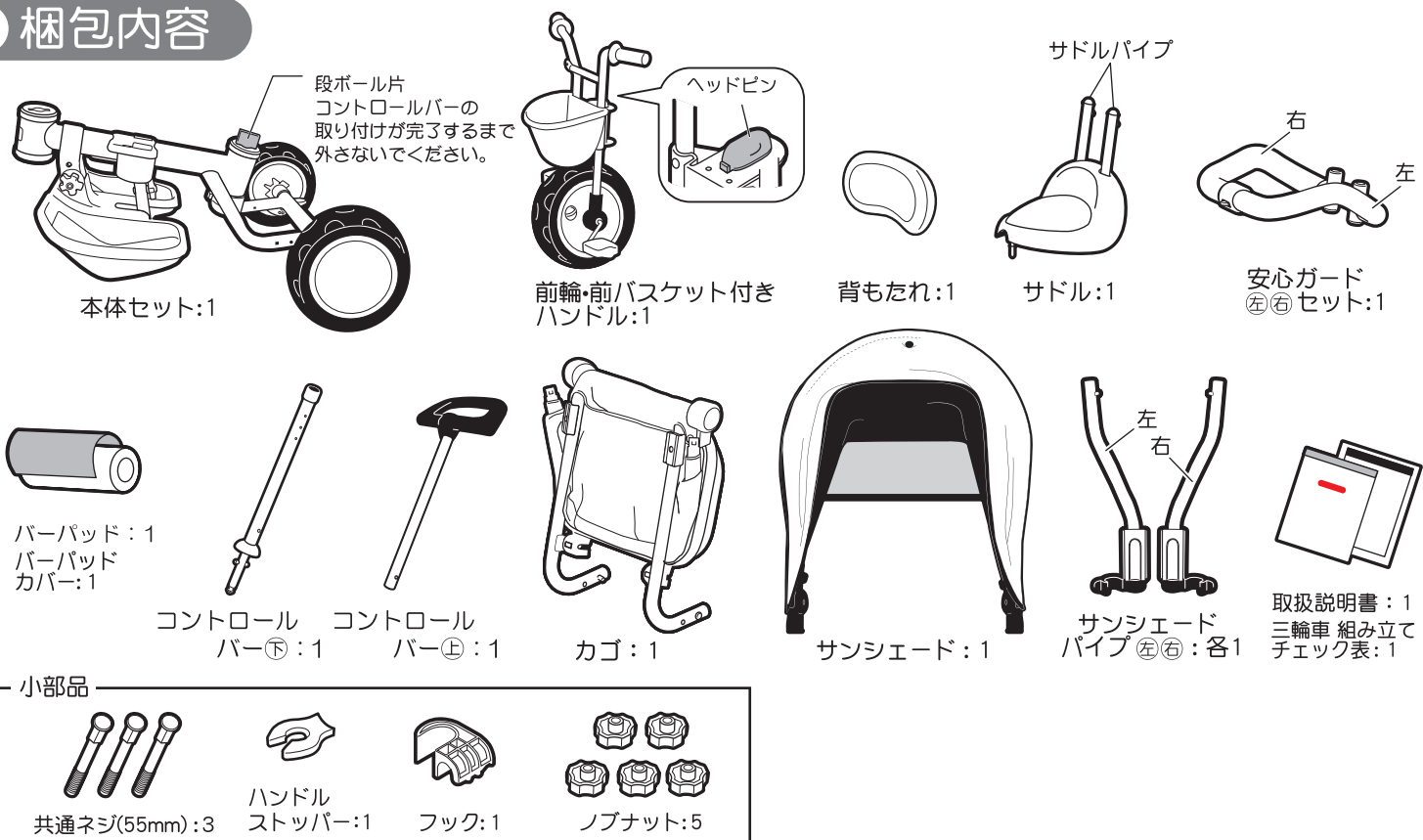
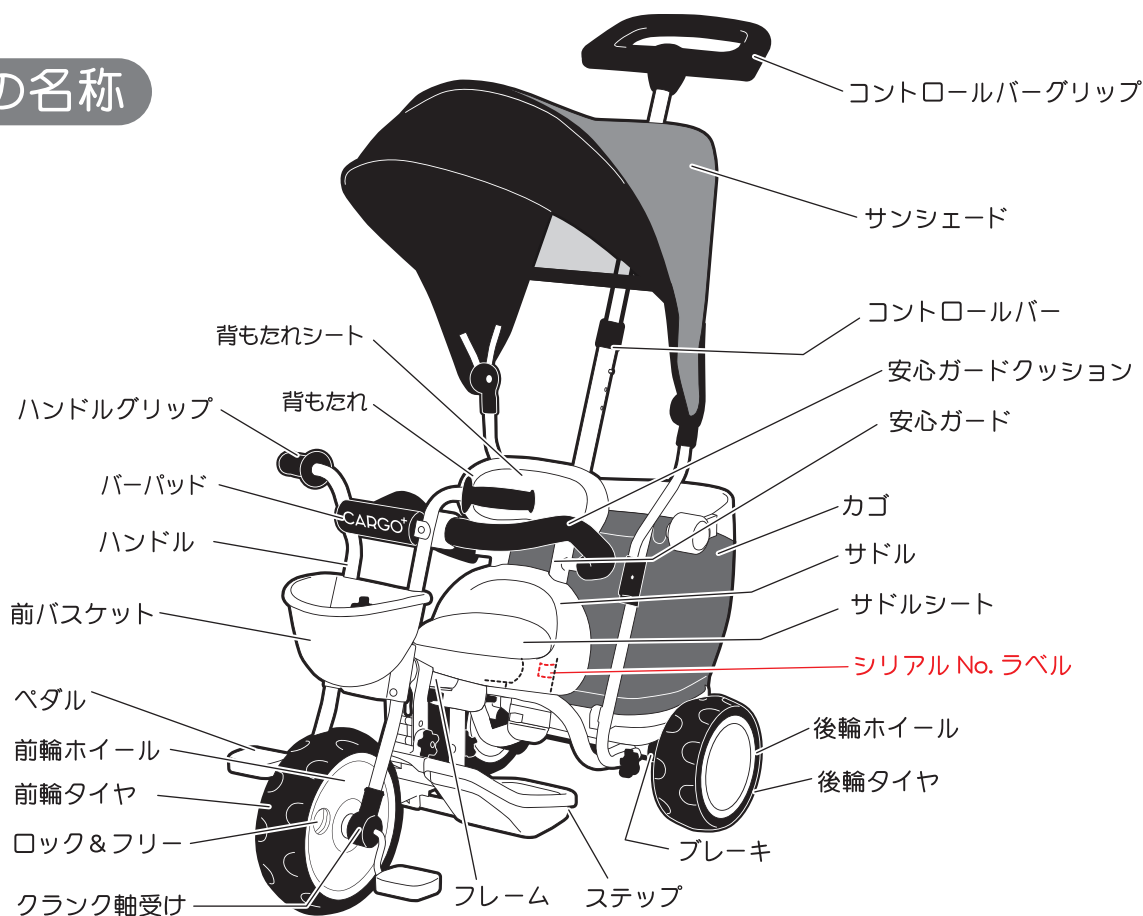
警告

●初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。
●お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
●ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてからご使用ください。裸足で使用すると隙間などで思わぬ怪我をする恐れがあります。
●坂道での使用は避けてください。
●交通の頻繁な道路、 車両交通の多い場所では使用しないでください。
●2人乗りなどの危ない乗り方は絶対しないでください。
●車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
●斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
●三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
●お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
●幼児の足がペダルにのっている場合、 コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
●小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。
●業務用 ・ 団体用で使用しないでください。
●三輪車以外の目的では使用しないでください。
●コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、 急な操作はしないでください。
●お子様が一人で三輪車をこげるようになりましたら、サンシェードとコントロールバーは一緒に本体から取り外してください。
●コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
●幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
●コントロールバーを付けた状態で使用するときは、必ずステップを使用し、ロック&フリー機能をフリーの状態にしてください。
●お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、 コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
●コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので物をかけないでください。
●カゴの取り外しは保護者が行ってください。手をはさむ恐れがあります。十分気を付けて取り外しを行ってください。
●カゴを後ろから押して遊ばないでください。カゴが変形する原因になります。
●カゴにペット（犬 ・ 猫など）や生き物を入れないでください。
●カゴにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください（制限重量8kg以下）。破損による怪我の恐れがあり大変危険です。
●カゴを持って、車体を持ち上げないでください。破 損する恐れがあります。

注 意

●使用前には必ず手入れ、 点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
●長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
●屋外で使用された後は直射日光を避け、 雨ざらしにしないでください。
●火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
●砂場や水たまりで使用しないでください。

※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」、「注意」が表記してありますので、そちらもお読みください。

③ 梱包内容

段ボール片
コントロールバーの
取り付けが完了するまで
外さないでください。

本体セット:1

ヘッドピン

前輪•前バスケット付き
ハンドル:1

背もたれ:1

サドルパイプ

サドル:1

右
左

安心ガード
㊧㊨セット:1

バーパッド：1
バーパッド
カバー:1

コントロール
バー㊦：1

コントロール
バー㊤：1

カゴ：1

サンシェード：1

左
右

サンシェード
パイプ ㊧㊨：各1

取扱説明書：1
三輪車 組み立て
チェック表：1

小部品

共通ネジ(55mm)：3

ハンドル
ストッパー:1

フック:1

ノブナット:5

※タイヤ､安心ガードクッションは材質の特性上、輸送時の衝撃などで表面に凹みが見られる場合がありますが、問題なくご使用いただけます。

④ 各部の名称

コントロールバーグリップ
サンシェード
コントロールバー
安心ガードクッション
安心ガード
カゴ
サドル
サドルシート
シリアル No. ラベル
後輪ホイール
後輪タイヤ
ブレーキ
ステップ
フレーム
背もたれシート
背もたれ
ハンドルグリップ
バーパッド
ハンドル
前バスケット
ペダル
前輪ホイール
前輪タイヤ
ロック＆フリー
クランク軸受け

【材質】

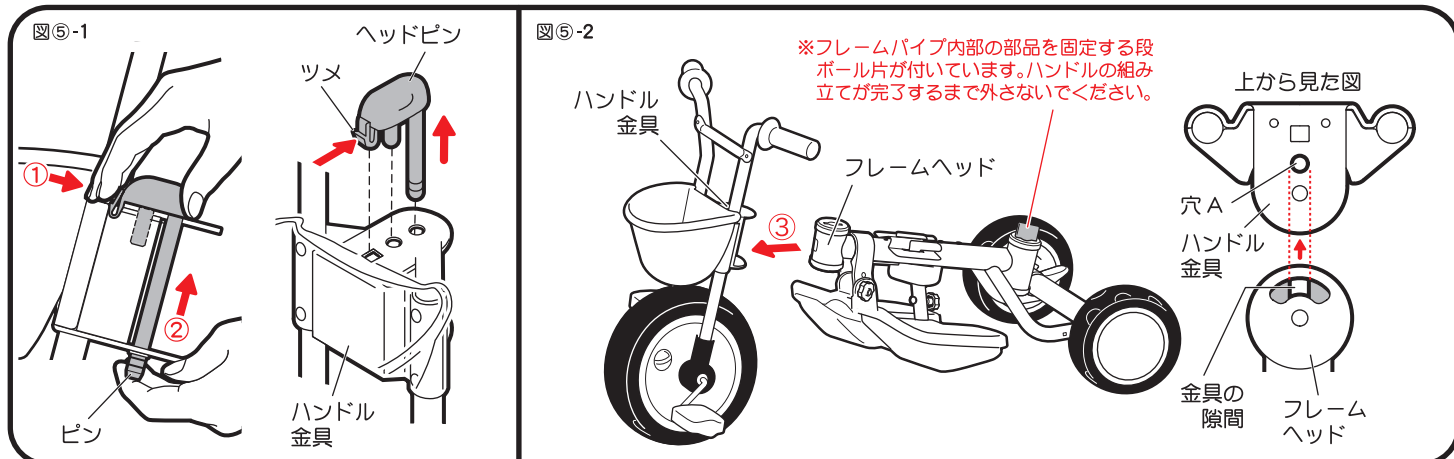
フレーム：スチール
ハンドル：スチール
コントロールバー：スチール
安心ガード：スチール
コントロールバーグリップ：ポリプロピレン(PP)
前バスケット：ポリプロピレン(PP)
前 / 後輪ホイール：ポリプロピレン(PP)
サドル：ポリプロピレン(PP)

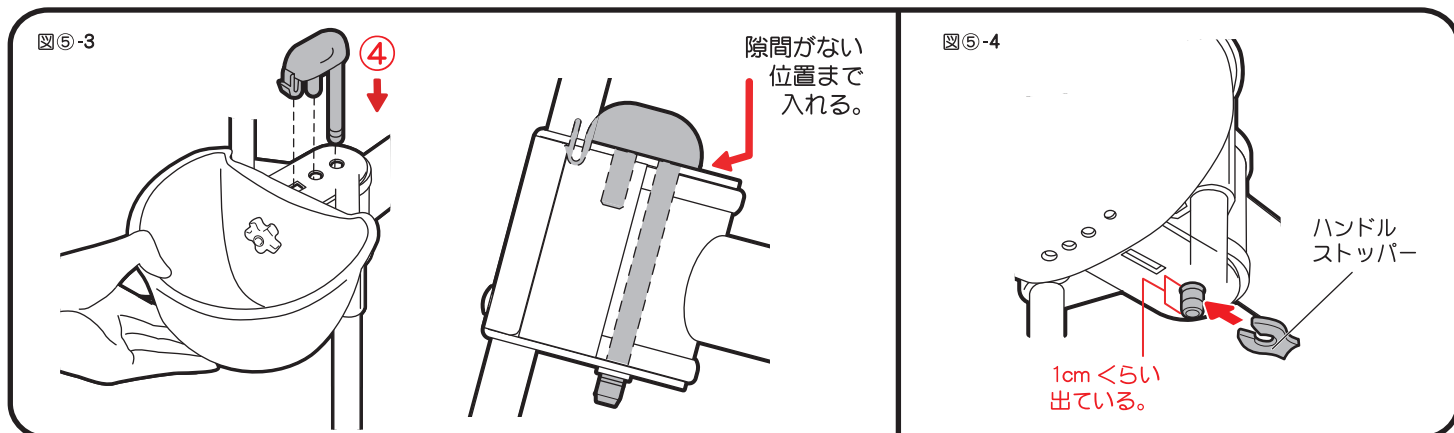
背もたれ：ポリプロピレン(PP)
ステップ：ポリプロピレン(PP)
サドルシート：塩化ビニール(PVC)
背もたれシート：塩化ビニール(PVC)
ハンドルグリップ：塩化ビニール(PVC)
安心ガードクッション：ポリウレタン(PU)
前 / 後輪タイヤ：エチレン酢酸ビニル共重合体(EVA)

カゴ：塩化ビニール(PVC)/ポリエステル
サンシェード：スチール
ポリアミド(PA)
ポリエステル

⑤組み立て方法

本書にそって三輪車の組み立てが完了しましたら、【三輪車 組み立てチェック表】を確認し、最終チェックを行ってください。お子様が三輪車に乗っている状態でチェックしないでください。

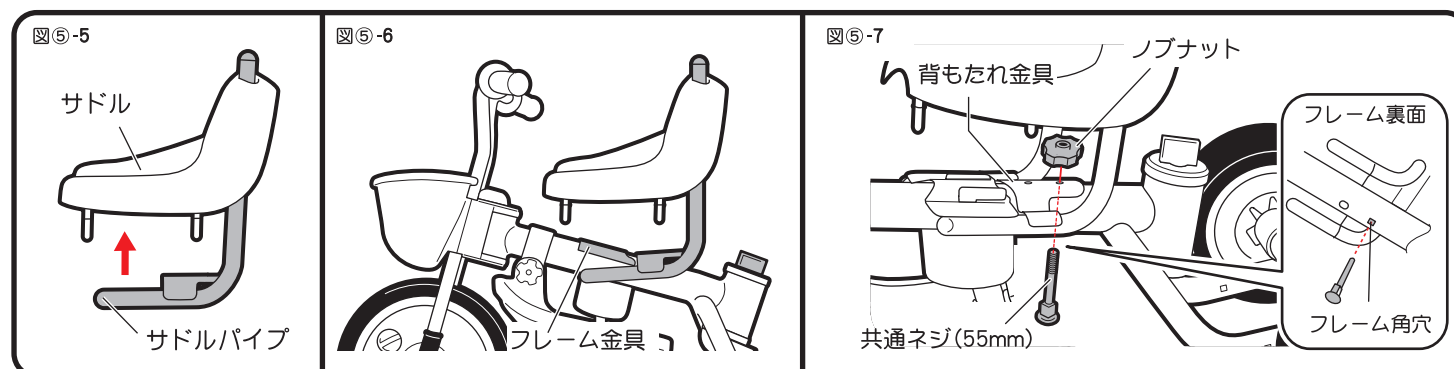
●ハンドルの取り付け

・ハンドルを取り付ける前に、ハンドル金具に付いているヘッドピンを取り外します。
・ヘッドピンのツメを矢印①の方向に押しながら、ハンドル金具の下部分から出ているピンの先端を矢印②の方向に押し上げ、引き抜いてください。

・ハンドル金具にフレームヘッドを矢印③の方向に入れます。
・フレームヘッドの穴から見える金具の隙間とハンドル金具の 穴 A が合うように入れてください。金具の隙間と穴 A がズレているとヘッドピンが根元まで入りません。

・ハンドル金具の穴に矢印④の方向でヘッドピンを入れます。その際バスケットの下部分を支えながら差し込みます。下部分を支えないで組み立てようとすると、ハンドル金具が曲がる恐れがあります。
・ハンドル金具の上面とヘッドピンに隙間がない位置まで、ヘッドピンが入っているか確認してください。

・ハンドル金具下からヘッドピンの先端が 1 cm くらい出ていることを確認してください。
・ピン先端の溝にハンドルストッパーを取り付けます。

注 意

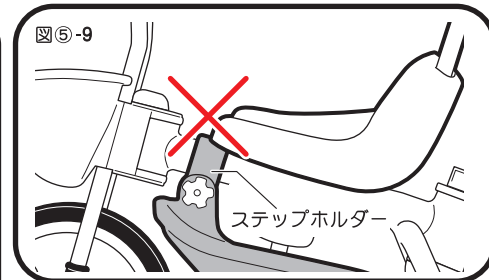
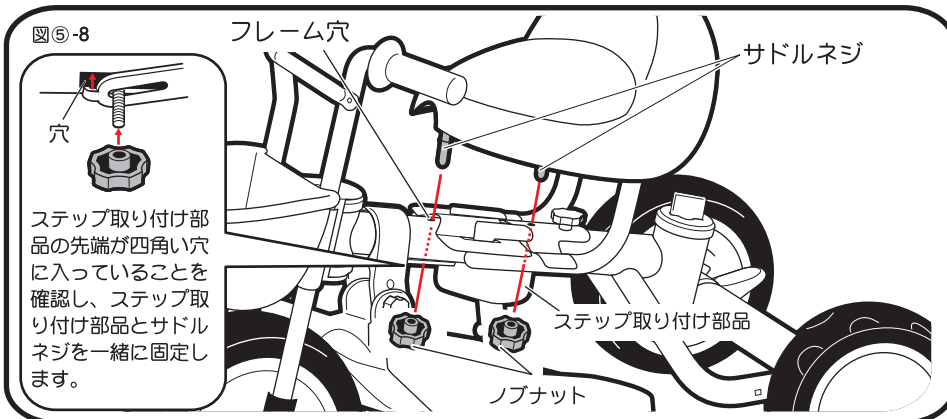
●ハンドル金具の下からヘッドピンの先端が 1cm くらい出ていない場合は正常な組み立てではありませんのでご注意ください。
●ヘッドピンを差し込まない状態で無理な力を加えないでください。ハンドル金具が変形して、ヘッドピンが固定できなくなります。

●サドルパイプの取り付け

・サドルをサドルパイプから引き上げて、図のようにしてください。

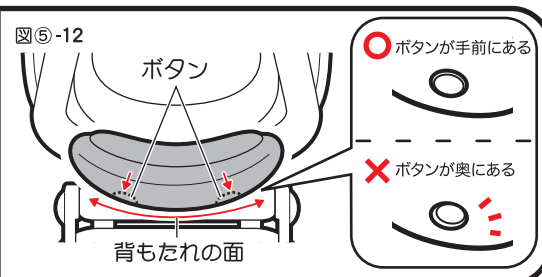
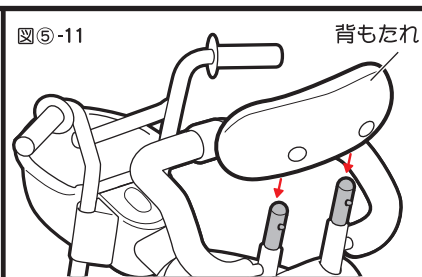
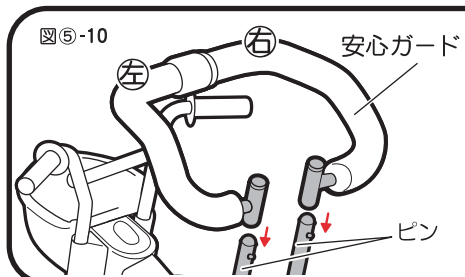
・サドルパイプの先端がフレーム金具の下になるように置いてください。

・フレーム角穴から共通ネジ（55mm）を入れ、ネジ先端が背もたれ金具の穴から出たらノブナットで締めつけてください。

●サドルの固定

図⑤-9
ステップホルダー

・サドルとステップホルダーが重なってしまうと、サドルを取り付けることができません。その際はステップホルダーを前方にスライドさせてください。

・サドルを押し下げ、サドルネジをフレーム穴に貫通させてください。
・フレーム下からネジ先端が出たらノブナットで固定してください。

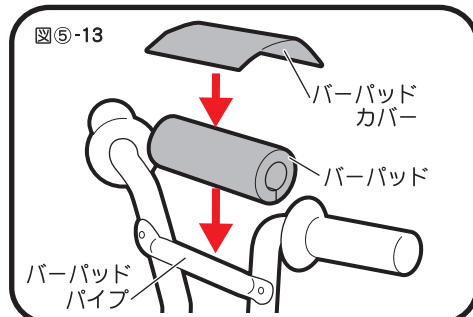
●背もたれ/安心ガードの取り付け

・サドルパイプのピンを押しながら安心ガードを差し込んでください。

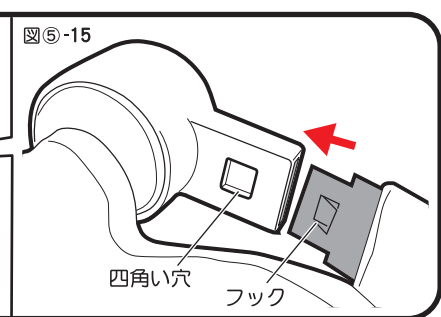
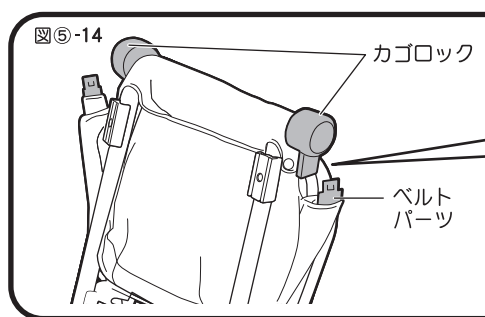
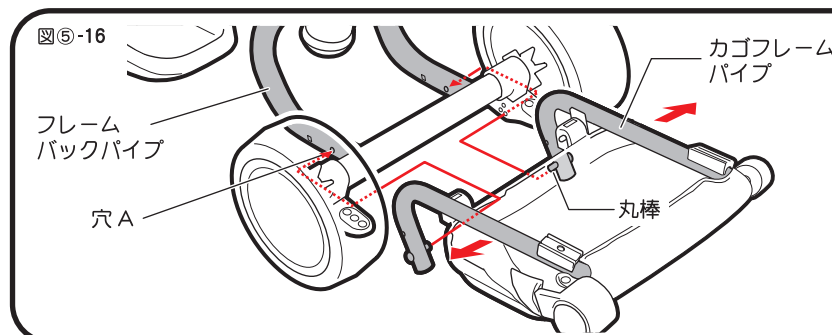
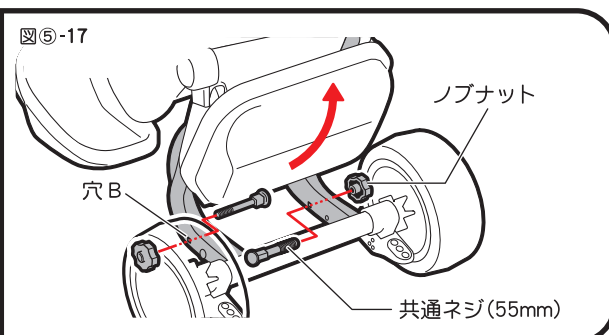
・背もたれをサドルパイプに強く押し込み、取り付けてください。

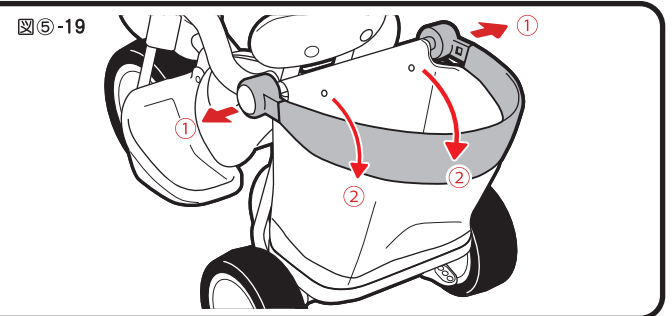
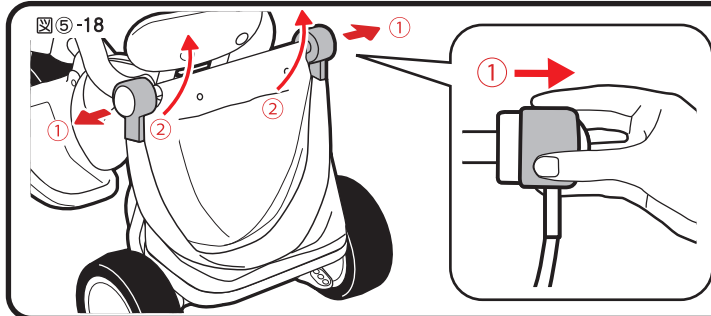
・後ろのボタンが背もたれの面と同じ位置まで出ていることを確認した後、背もたれを持って本体を持ち上げても外れないことを確認してください。

注 意

●安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
●安心ガードを使用する際は手や指をはさまないように注意してください。
●安心ガードの開閉は保護者が行ってください。
●子供を乗せたまま背もたれやハンドル、安心ガードを持って車体を持ち上げないでください。

●バーパッドの取り付け

・バーパッドをバーパッドパイプに取り付け上からバーパッドカバーを取り付けます。

●カゴの取り付け

・左右のカゴロックの穴にベルトパーツを差し込みます。カゴロックの内側の四角い穴にベルトパーツのフックが取り付くまで押し込んでください。

・カゴフレームパイプ先端の左右の丸棒をフレームバックパイプ下側の穴Aに、矢印の方向へ広げながら差し込みます。

・カゴフレームパイプを前方へ起こして、共通ネジ(55mm)2本を左右の穴Bに通し、ノブナット2個で固定します。

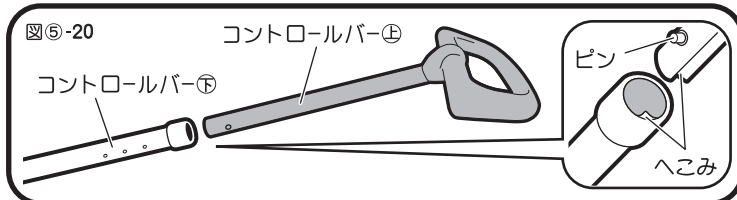
●カゴの起こし方

・①左右のカゴロックを同時に外側に引っ張りながら、
②上方向に回転してカゴを起こします。
カゴロックから手を離すとカゴのふちが水平に固定されます。

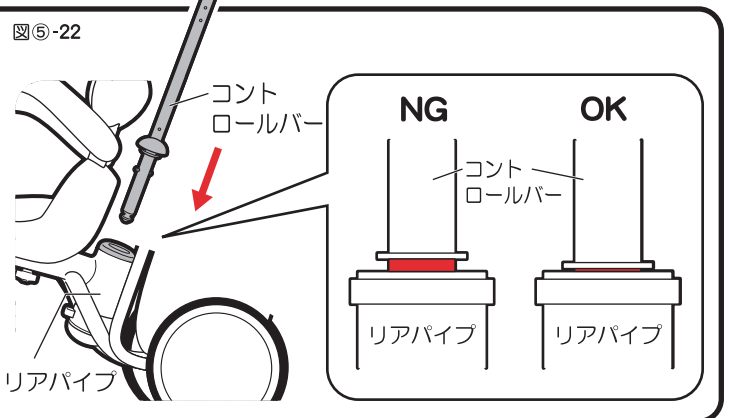
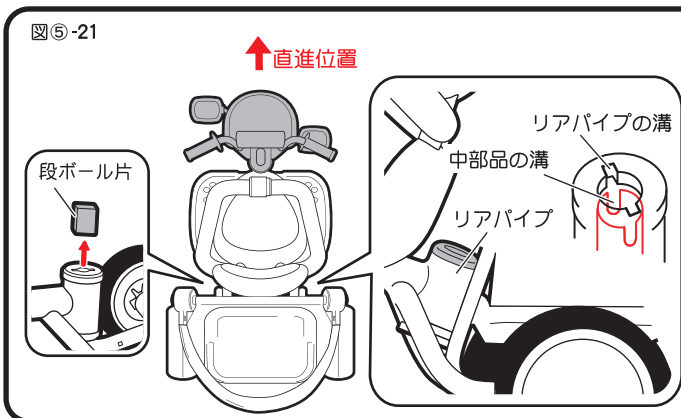
●カゴのたたみ方

・①カゴロックを同時に外側に引っぱりながら、
②下方向に回転してカゴをたたんでください。

注 意

●カゴの折りたたみは保護者が行ってください。手や指をはさむ恐れがあります。十分気をつけてお取り扱いください。
●カゴにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください(制限重量8kg以下)。破損の恐れがあり大変危険です。
●カゴに鋭利なものを入れないでください。カゴ布部分が破れる恐れがあります。
●カゴを持って、車体を持ち上げないでください。破損する恐れがあります。

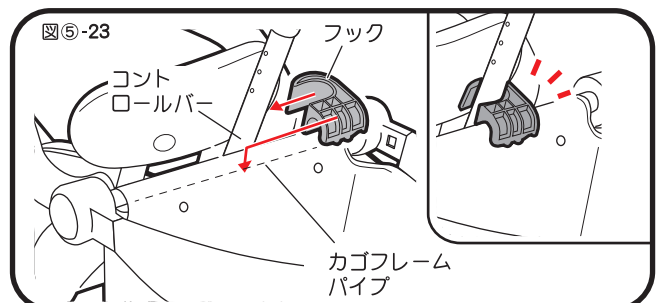
●コントロールバーの組み立て

・コントロールバー㊤のピンを押しながら、コントロールバー㊦に差し込んでください。その際、パイプのへこみ方向を合わせるようにしてください。

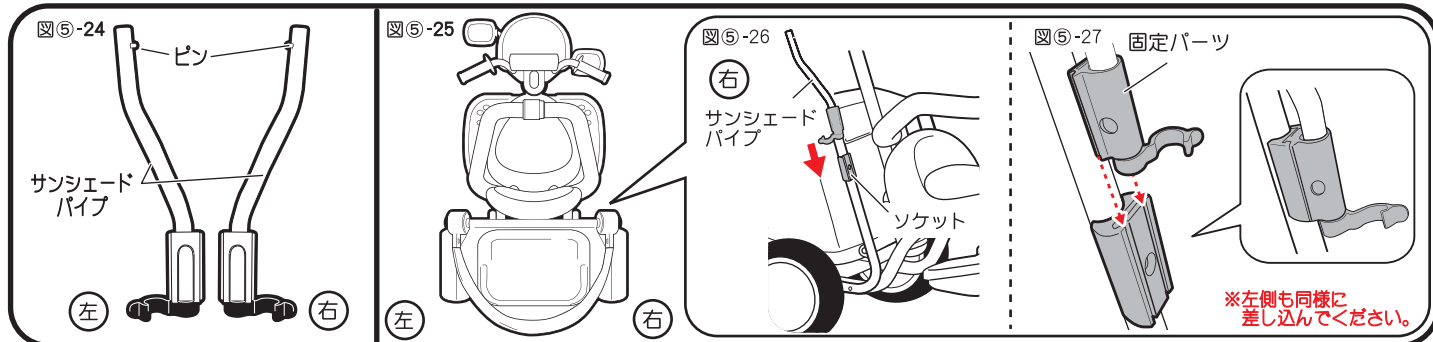
●コントロールバーの取り付け

・フレームパイプ内部の部品を固定する段ボール片を引き抜き、ハンドルを直進位置(左右に曲げない)にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。溝がズレているとコントロールバーが入りませんのでご注意ください(ハンドルと中部品は連動して動きますので、中部品の溝がズレしているときはハンドルを直進位置に動かしてください)。

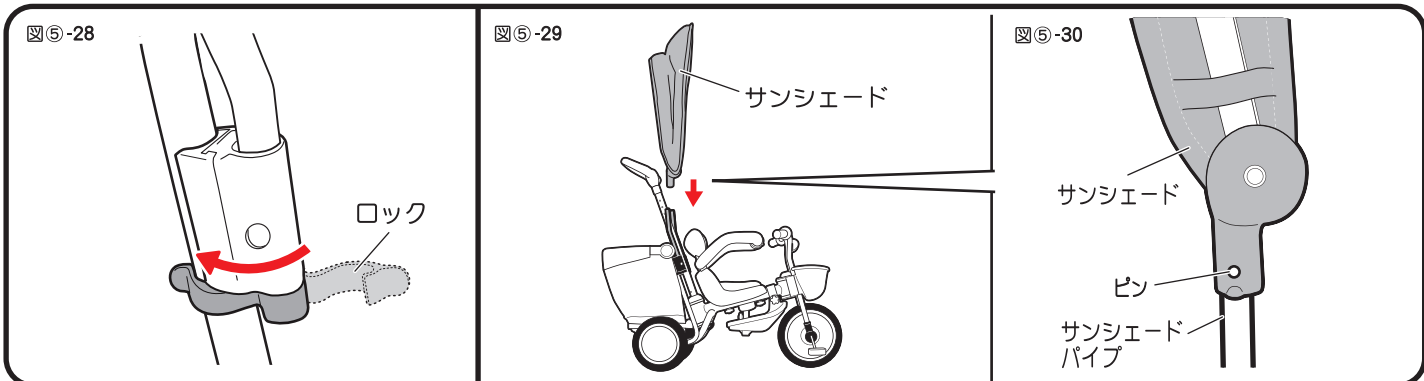
・図のような向きでコントロールバーをリアパイプに差し込みます。コントロールバーがリアパイプにしっかりはまったことを確認してください(ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーはリアパイプに挿入できません)。差し込んだあと、コントロールバーを上方向に引っぱり、抜けないことを確認してください。

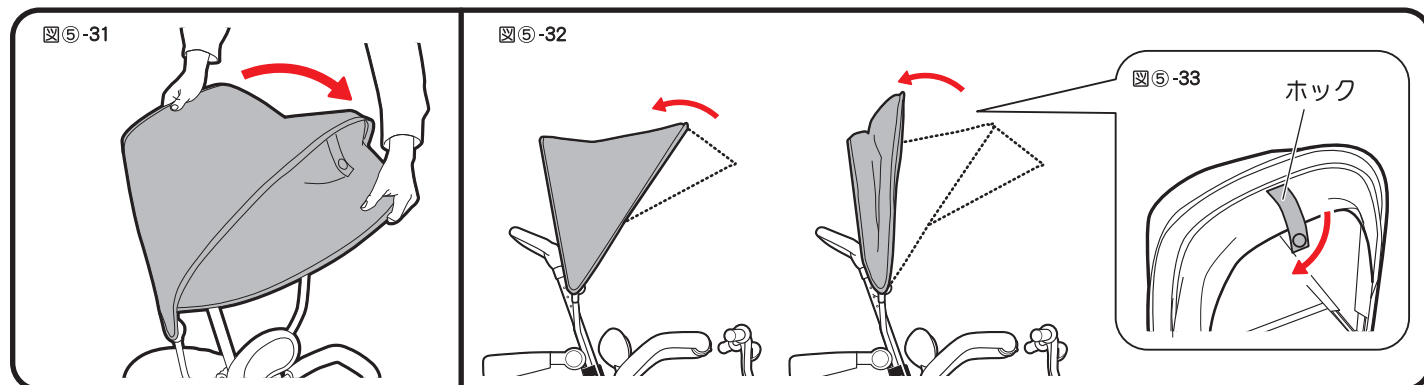
注 意

●コントロールバーのかじとり機能には左右にあそびがありますが、設計上のものであり異常ではありません。

●フックの取り付け

・コントロールバーとカゴフレームパイプにフックを取り付けてください。

●サンシェードの取り付け

・サンシェードパイプの左右を確認します。ピンが車体の内側を向くように取り付けます。

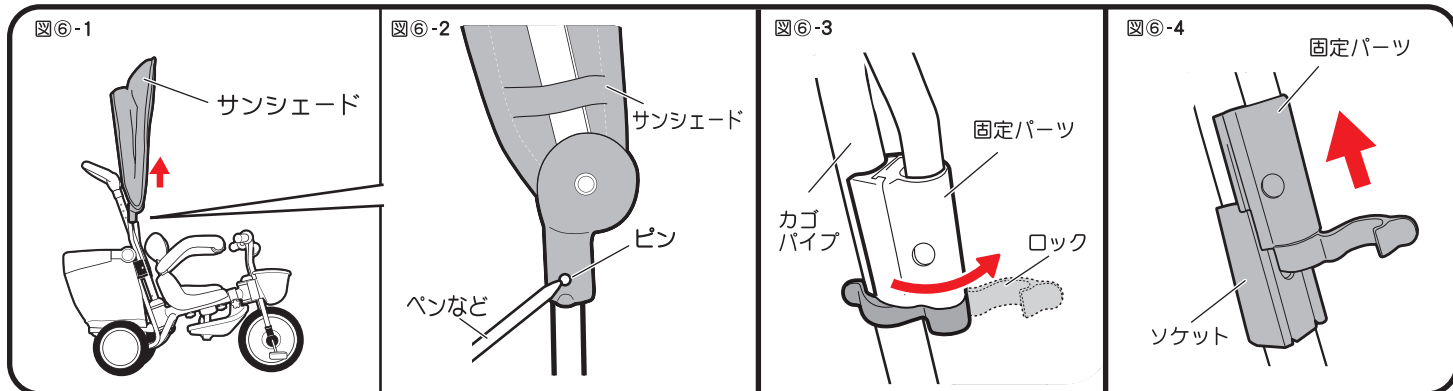
・カゴパイプのソケットにサンシェードパイプの固定パーツをスライドして奥まで差し込みます。ソケットと固定パーツの凹凸を合わせて取り付けてください。

•ロックをパイプに押し付けて固定してください。

・サンシェードパイプの ピンを押しながら、サンシェードを左右片方ずつ取り付けてください。
ピンが飛び出ていることを確認してください。ピンが出ていないと、サンシェードが外れてしまう可能性があります。

・サンシェードの骨を両手で持ち、ゆっくりとサンシェードを広げてください。
無理な力をかけないでください。

•サンシェードを調節する際、また折りたたむ際は、サンシェードを閉じてベルトのホックを内側で留めます。

⚠警告

- ●お子様が一人で三輪車をこげるようになりましたら、サンシェードはコントロールバー と一緒に本体から取り外してください。
- ●風の強い日にはサンシェードを使用しないでください。転倒し思わぬ怪我をする恐れが あります。
- ●風で車体が動く場合があるため、注意してください。
- ●火気に近づけたり、雨ざらしにしないでください。
- ●サンシェードにおもちゃなどを取り付けないでください。
- ●サンシェードに過度な荷重をかけないでください。破損の恐れがあります。
- ●サンシェードを持って、車体を持ち上げないでください。破損の恐れがあります。
- ●サンシェードの上に乗ったり開閉時に無理な力をかけないでください。
- ●サンシェードの取り付け、開閉は保護者が行ってください。
- ●サンシェードを使用する際は手や指をはさまないように注意してください。
- ●素材の性質上洗剤や水の丸洗いは素材の損傷や色落ちの原因となりますので洗濯はお避けください。
- ●汚れた場合は、濡れた布でその部分を軽くふき取るか、ブラシなどで汚れを払い落としてください。
- ●製品が濡れた場合は、乾いた布で水気をふき取り陰干ししてください。濡れたまま長時間放置しますと、色落ちやカビ、錆の原因となります。
- ●アルコール系溶剤の使用は色落ちの原因となりますのでお避けください。

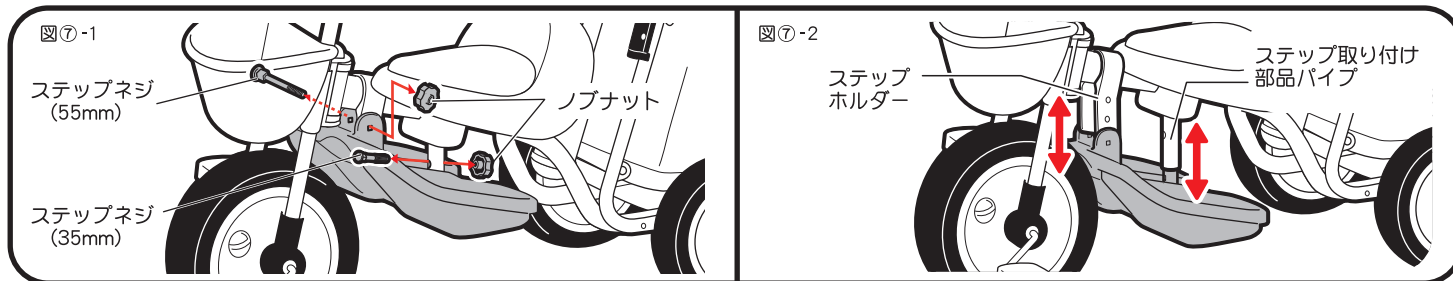
⑥ サンシェードの取り外し方法

・サンシェードパイプの ピンを押しながら、サンシェードを左右片方ずつ取り外してください。このとき、ピンが固くて押しにくい場合はペンやプラスドライバーなどでピンを押しながら、サンシェードを取り外してください。パイプからサンシェードが容易に外れないように、ピンは固めに設計してあります。
ピンは必要以上に押し込まないようにしてください。押し込みすぎると、パイプの中に沈み込んでしまう場合があります。

・ロックを外します。

・固定パーツをスライドしてソケットから引き抜きます。

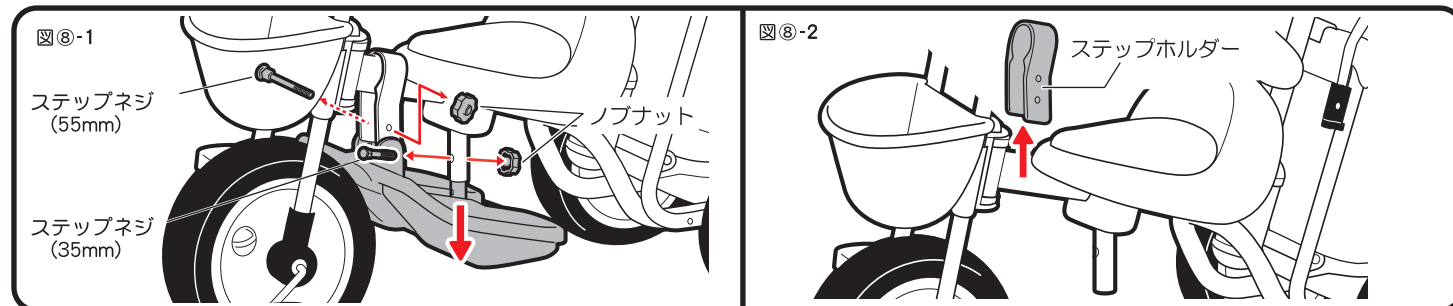
⚠警告

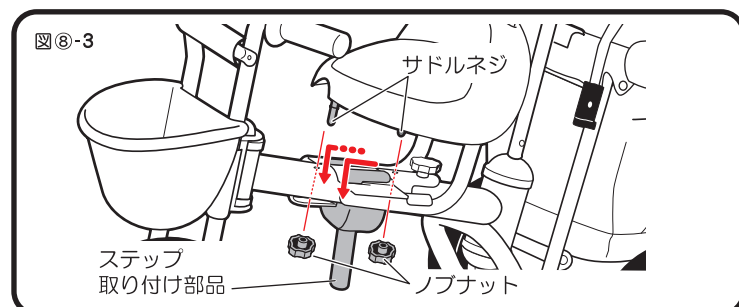
- ●サンシェードの取り外しは保護者が行ってください。また、近くにお子様がいない状態で取り外してください。
- ●サンシェードを取り外すときは、サンシェードパイプも一緒に取り外してください。

⑦ ステップの高さ調節方法

・ステップを固定している2カ所のノブナットをゆるめ、ネジを抜きます。

・ステップを上下させステップ前部とステップホルダー、ステップ取り付け部品パイプのそれぞれの穴を合わせネジを差し込みノブナットで固定してください。

⑧ ステップの取り外し/ 取り付け方法

●ステップを取り外す

・ステップを固定している2カ所のノブナットをゆるめ、ネジを抜き、矢印の方向にステップをずらしながら取り外します。

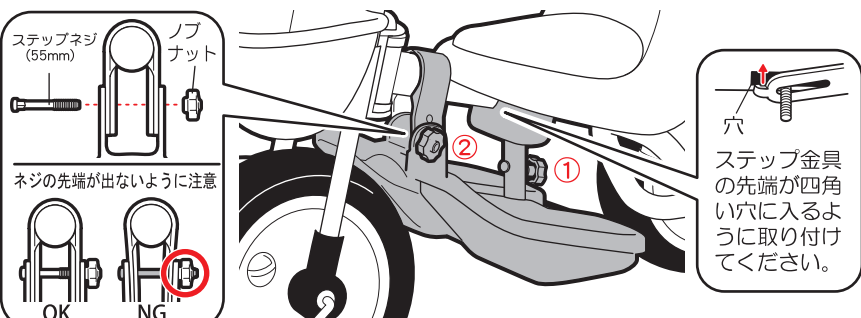
・ステップホルダーを取り外します。

・サドルネジからノブナットを外し、サドルを引き上げます。
・ステップ取り付け部品を傾け、前方へスライドさせ取り外します。
・サドルを押し下げ、ノブナットを再度サドルネジに取り付けます。

⚠警告

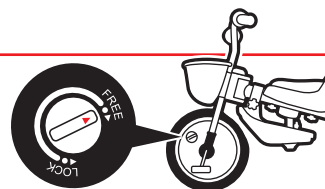
●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

注 意

●ステップの取り外しは保護者が行ってください。

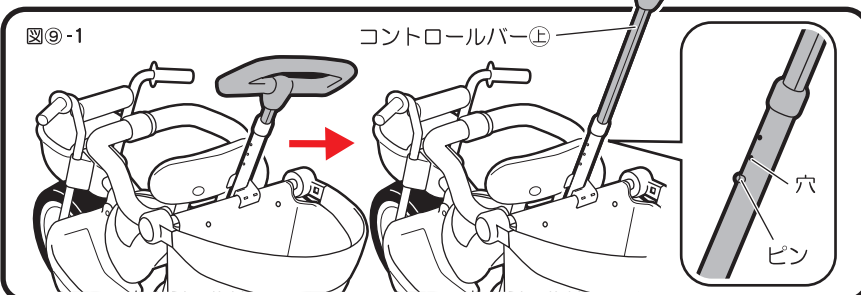
●ステップを取り付ける

・ステップを再度取り付ける際は①の箇所にステップネジ(35mm)を使用し、②の箇所にステップネジ(55mm)を使用してノブナットで締め付けてください。
・7ページ［ステップを取り外す］の手順を逆の順序で行ってください。

必ず確認してください。

ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。
※ロック＆フリー機能については10ページ【ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください。

注 意

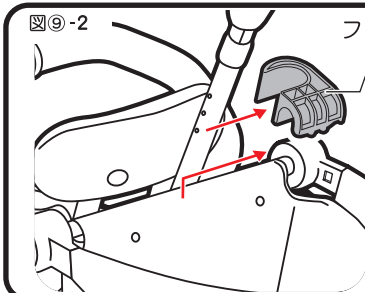
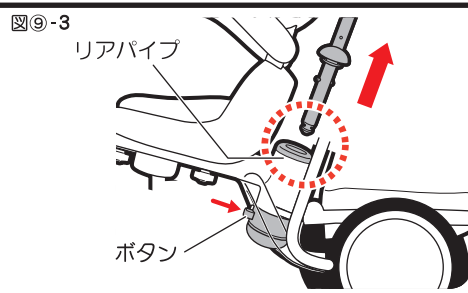
●ステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
●ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
●ステップ、サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

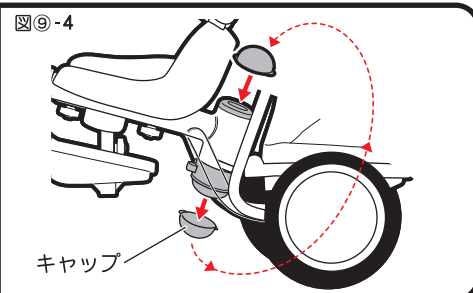
⑨ コントロールバーの調節/取り外し方法

●コントロールバーの高さ調節方法

・コントロールバーの横穴から出ているピンを押しながらコントロールバー㊤を上下させ、お好みの高さに調節してください。
・他の高さの穴からピンが飛び出るまでスライドさせてください。
ピンは必要以上に押し込まないようにしてください。押し込みすぎると、パイプの中に沈み込んでしまう場合があります。

注 意

●ピンが穴から飛び出ていることを確認の上、使用してください。ピンが出ていないと、使用中にコントロールバー㊤が抜けてしまう可能性があります。
●コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態（10ページ【ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください）。
●コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。
●段差のある場所でのご使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。

●コントロールバーの取り外し方法

・フックを取り外してください。

・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、ボタンを押しながらコントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。

・リアパイプ下側からキャップを外しリアパイプの上に取り付けてください。

必ず確認してください。

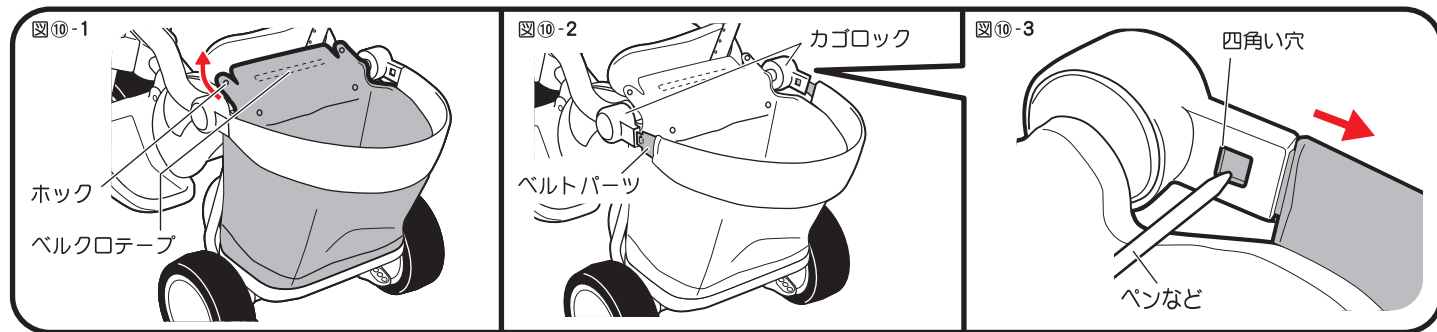
コントロールバーを取り外してご使用の際は、必ず車体後ろのカゴを取り外してください。
※カゴの取り外しについては9ページ【カゴの取り外し方法】を参照してください。

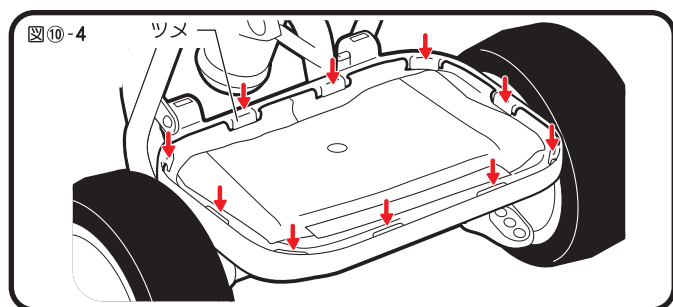
⚠警告

●コントロールバーを外した後は必ずキャップをリアパイプ上側に取り付けてからご使用ください。キャップを取り付けずに使用すると怪我をする恐れがあります。
●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬ怪我の原因になります。また小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

注 意

●コントロールバーの取り外しは保護者が行ってください。
●キャップの取り外し、取り付けは保護者が行ってください。

⑩カゴ布部分の取り外し方法

・カゴのホックとベルクロテープを外します。

・左右のカゴロックからベルトパーツを取り外します。カゴロックの内側にある四角い穴から、ベルトパーツをペンなどで押しながら引き抜きます。

・カゴ底のツメから布部分を取り外します。
過度な力をかけると破れる恐れがあります。注意してください。
・カゴ布部分は洗うことができます。洗濯の際は下の項目を参照してください。
・カゴ布部分を洗濯後、取り付けるときは【カゴ布部分の取り外し方法】の逆の手順で取り付けることができます。

●型くずれを防ぐため、やさしく手洗いしてください。染料が色落ちする場合がありますので他のものと一緒に洗わないでください。また長時間の付け置きもしないでください。

●洗った後はしぼらないでください。タオルなどに押し付けて水気を取り除いてください。

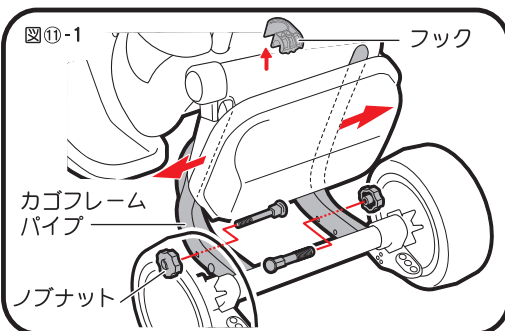
●漂白剤や入浴剤などの入った水は使用しないでください。

●水気を取り除いた後、型を整えて日陰で平干しし、十分に乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。

●アイロンがけはしないでください。

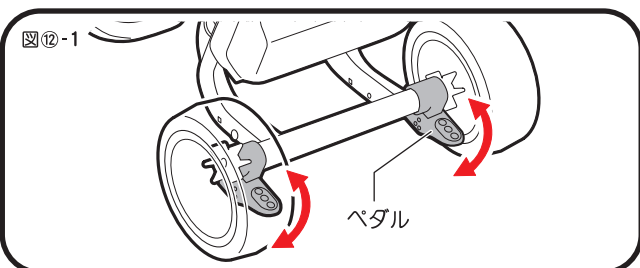
●ドライクリーニングはしないでください。

注 意
●カゴ布部分をカゴ底から無理に外すとカゴ布が破損する恐れがあります。
●取り外した部品はお子様の手の届かないところに保管してください。

⑪カゴの取り外し方法

・カゴを折りたたみます(5ページ［カゴのたたみ方］を参照してください)。
・フックを外します。
・ノブナットを外し、ネジを抜きます。
・カゴフレームパイプを矢印の方向へ広げて取り外します。

警告 ●カゴの取り外しは保護者が行ってください。

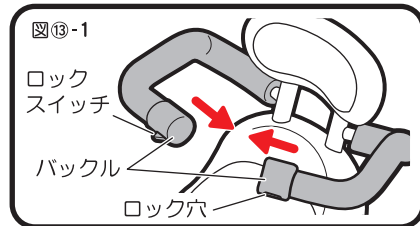
注 意 ●取り外した部品はお子様の手の届かないところに保管してください。

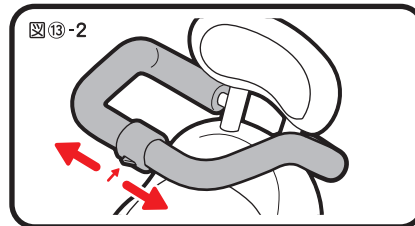
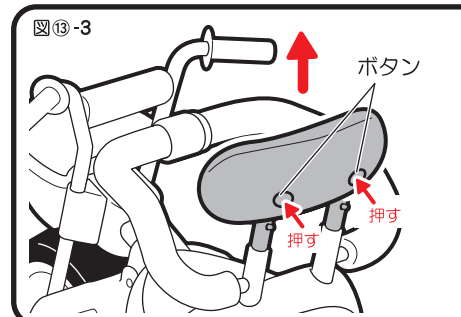
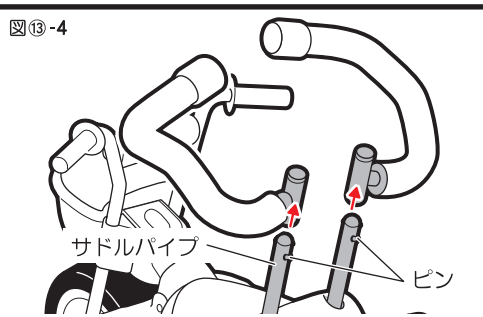
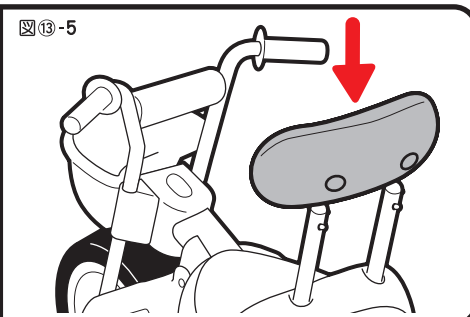
⑫ブレーキの取り扱い

・ブレーキをかけたいときは左右のペダルを下げてください。
・ブレーキを解除したいときは左右のペダルを上げてください。

警告
●三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
●お子様を三輪車に乗せたときはブレーキを過信しないでください。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。
●ブレーキを操作する際は必ず左右のペダルを同じように操作してください。左右が揃っていないと正常に動作しません。

注 意
●ブレーキの上げ下げは保護者が行ってください。
●三輪車を動かす前に必ず、ブレーキが解除されていることを確認してください。ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

⑬安心ガード の開閉/取り外し方法

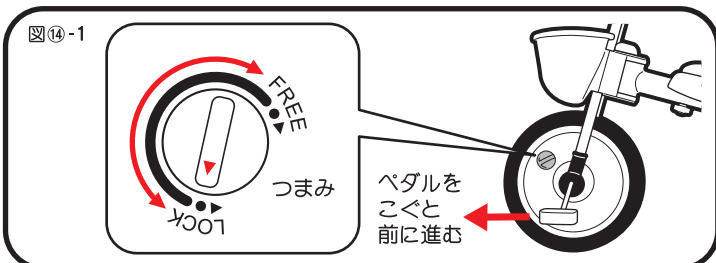
●安心ガードを閉める

・安心ガードの左右のバックルが三輪車の中心で重なるように合わせてください。バックルが重なるとロックスイッチがロック穴から出てロックがかかります。

●安心ガードを開ける

・ロックスイッチを押しながらバックルを左右に開いてください。ロックが解除され、安心ガードを開くことができます。

・ボタンを２つ同時に押しながら背もたれを上に引き抜いてください。

・安心ガードを開いた状態で、サドルパイプのピンを押しながら左右の安心ガードを取り外してください。

・背もたれを再度取り付けてください（4ページ【背もたれ/安心ガードの取り付け】を参照してください）。

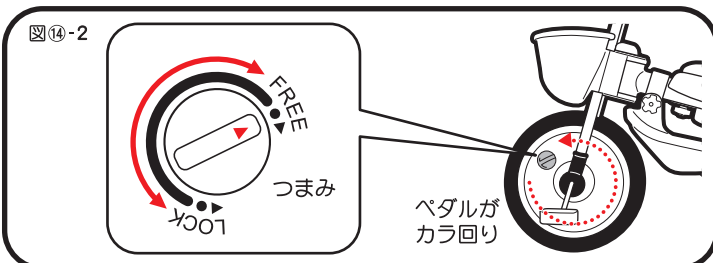
注 意

●背もたれを外したまま使用しないでください。
●子供を乗せたまま背もたれやハンドルを持って、車体を持ち上げないでください。

⑭ロック＆フリーの取り扱い

●ロック状態

・お子様がペダルをこいで、使用する場合は、『つまみ』の▲印をLOCK(ロック)に合わせてください。

〔つまみをロックにすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。〕

●フリー状態

・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE(フリー)に合わせてください。

〔つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者の方がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。〕

フリー機能の説明

フリーにしても前輪とペダルが一緒に回転する場合がありますが、ペダルを手でおさえた状態で前輪が回転すれば異常ではありません。フリー機能はペダルがステップなどに当たっても三輪車が不意に止まってしまったり、お子様がペダルとステップの間に万が一足をはさんでも怪我をしないようにするための機能です。

必ず確認してください。

ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。
ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。

⚠警告

●ロックの状態でコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
●お子様が三輪車に乗った状態でのロック＆フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
●坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

注 意

●『ロック＆フリー』の切り替えは、保護者が行ってください。
●ご使用になる前は、必ずロック、フリーの確認を行ってください。
●水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があり、故障の原因になります。